

第 291 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 25 年 5 月 7 日 (火) 16:00～17:30
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix モーニング ラジラ
[放送日時] 平成 25 年 5 月 3 日(金) 7:28～10:51
[出演者] 高橋 正純

4. 出席者

[委員] 委員長 出口泰規 副委員長 谷川眞美、
委員 角田哲康 委員 木宮敬信
委員 小野晃司 委員 山本りさ
[会社] 代表取締役社長 祐嶋繁一
取締役業務推進本部長兼営業推進部長 竹内照夫
放送本部長兼編成制作部長 久保田克敏
編成制作部副部長 寺田和史

5. 事務局報告

- 平成 24 年度決算のあらまし
- 新生ワイド編成にあたっての、編成制作部門と営業部門の情報共有の徹底化について
- 国のラジオ局強じん化政策における K-MIX の意見報告について
- V-LOW 帯のマルチメディア放送の参入希望の提出について
- 放送再免許申請の手続き準備について
- スタジオ設備の更新作業について

6. 番組審議

[対象番組] K-mix モーニング ラジラ

[放送日時] 平成 25 年 5 月 3 日(金) 7:28～10:51

[番組内容] “K-mix 夕方の顔” として、10 年間「Radio the Boom!」を担当した高橋正純が K-mix の朝の顔になるべく登場。政治・経済・スポーツと、朝にマストなニュースはもちろん、音楽チャート新商品紹介など、より「使える」インフォメーション満載の 3 時間 30 分。

[聴取・合評での主な意見]

谷川副委員長 私が教えている大学の学生が、高橋さんやこの番組のことを話題にしていた。学生がラジオ番組について語ること自体稀なので、それだけこの世代にも高橋さんは認知、支持されているということだと思う。私自身

はまだ高橋さんが朝の番組をやっているということがしっくりこない。本人自身がこの状況に慣れていないという感じもある。夕方ではしっくりくるのが、朝ではそうはいかないということがいろいろある。その典型は冒頭のクイズのコーナーやそのボケ解答を紹介するところだ。朝にこれをやられると、くどい感じがする。また、良し悪しは別にして、ニュースの読み方がアナウンサーとは違う。ニュースの紹介の仕方にもう少し工夫の余地がある。コーナーが細かく分かれていて、リスナーは時計代わりに「このコーナーが始まったら、何々をする、していなければいけない」という感じで番組を聴いていることが多いと思うが、その意味でも各コーナーでのメリハリがもっとあったほうがいい。どのコーナーでも高橋さんのしゃべりのトーンが似ていて、全体が一体化しすぎている。

角田委員

想像していたより、よい番組だと思った。ただ、情報番組として聴くと中途半端な感が拭えない。聴き取りにくい点が多い。彼は夕方の番組では「押し出すタイプ」だったが、朝の番組では「引き出すタイプ」になるべきだ。今のニュースの読み方では、情報が伝わりきらない。どこが「ニュースを伝えるところ」で、どこが「リスナーのボケを受け止めるところ」でどこが「情報を聴かせるところ」なのかが、リスナーが分かるように伝えることをして欲しい。

小野委員

朝の番組の雛形に沿っている、という感じがある。全体的には聴き易い。HONDA と SUZUKI の冠コーナーが続けてあるが、HONDA のコーナーがニュースや交通情報といった一般的な内容なのに対し、SUZUKI のコーナーはゲストに電話をつなぎインタビューするコンテンツだったのだが、それぞれスポンサーの要望なのか。(会社サイドから、いずれもスポンサーの要望の旨説明) ニュースの雰囲気はあまりあるとは言えない。

木宮委員

クイズのボケ解答に対するやり取りは、夕方の番組時代と同じだが、夕方の番組で使っていた笑い声の効果音を、朝では使っておらず、その代わりに高橋さん自身が、それぞれの答えにツッコミを入れなくてはいけない状況になっており、それが「くどさ」を生んでいる。SUZUKI のコーナーでは、事前のリサーチの内容には触れず、インタビュー相手が言いたいことを言えないようにしてしまっている。高橋さんは「人をいじる」ことが得意な人だが、この場合はそれが裏目に出てしまっている。高橋さんが自分の得意な方向にもっていくことが、よくない結果を生むこともある。ニュースについてはアナウンサーに求めるよ

うなニュースを高橋さんに読んでもらうのではなく、彼がニュースにコメントするなど、独自のスタイルを考えてみてはどうか。

山本委員

BGM が朝の番組らしい。ニュースはやはり聴き辛い。それ以外の部分は聴き易いと思う。リスナーは高橋さんのトークを楽しんでいるのだと思うが、やはり夕方の番組と同じような手法ではしつこい感じがする。SUZUKI のコーナーに出演したフードコーディネーターは、自分でしゃべりたいことがあったはずだが、それとは関係のない質問を高橋さんがするので、相手は「そうですね」という返事しか出来ないことになってしまっている。

出口委員長

高橋さんが一人で3時間30分を担当するのは厳しい。高橋さん自身、まだ「時差ボケ」があるような感じだ。しゃべりのリズムがDJ風だ。もう少し絞まったところがあったほうがいい。クイズのボケ回答で同じようなものを何回も紹介するのはくどい感じがする。「朝から何を馬鹿なことをやっているんだ」という気になる。ニュースも交通情報もスポーツニュースも全て同じような口調だ。それでいいのか、変えたほうがいいのか、難しいところではあると思うが、検討の余地がある。ニュースをアナウンサーに読ませることも検討したらどうか。

会社サイド

前回（第290回）では、番組に番組の情報性やパーソナリティの個性の演出などについてご意見をいただきました。今回（第291回）ご指摘いただきました点につきましても、今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

7. 次回開催日 平成25年6月4日（火） 11:50～13:30を予定

以上

番組審議会委員長

出口 泰規